# **合格おめでとう!**

日本国際教育支援協会と国際交流基金が実施するご存じ日本語能力試験、オリーブの生徒も受験する人が多くなっ てきました。7月6日の試験にも N4から N1まで6名の人から合格のうれしい知らせ! 合格者の喜びの声をいくつか紹 介します。いま 12 月 7 日に行われる第 2 回の申し込み受付中です。受験する人、指導の先生、がんばって!



前はもっと日本語がうまく話せたら一番大事なことだと思っていましたが、最近日 本語能力試験に合格できたことも大切だと思います。だから N3 合格と発表されたと きにめっちゃうれしかったです。先生たちのおかげで、N3 合格できましたので、感謝の 気持ちがいっぱいです。まことにありがとうございます。次はインドネシアで N2 合格でき るよに、チャレンジして頑張ります。よろしくお願いします。





N2 日本語能力試験を合格できて、本当に嬉しいです。日本に来てからずっと憧れていた。合格できる ということは自分を超えるということだと思っています。だか ら、合格できるために長い時間にわたって少しず つ日本語のことを勉強しています。合格できるというのは勉強する日本語がおわるというものではない。次 の段階もまだあるし、分からないこともたくさんあるし、そこで頑張るしかないと思います。 (バエヌルさん)



先生と皆さんのおかげで N1 合格しました。心からありがとうございます。

毎週、田中老師から日本語はもちろん日本の文化や歴史、四字熟語や慣用句など面白い知識もおし えてくれました。中国人にとって、間違いやすい長音、促音の練習もどんどんやりました。

老師と出会って、オリーブに参加してほんとによかったです。

は

携

帯電

話が

普及

する

ま

で

は

な

た言

方で

あ

る。

か」などと

() 1,

う

表

お 

電

話

番号 様

頂戴

しても

0

携

带

「今 Ĺ

お

時

間

よろし

で

す

中

1

的

表

現

だと

考えら

る。

ŧ

<

りこな

1)

ŧ

社

0

反

映

な

0

か、

すべ

7

る

どう

ŧ

落

ち

な

き日績た本は

語 上

業

て

ŧ はな

ピ

ンジネ

ス

日

0

授

が 留 う

っ す ス

はてる成

な

( )

きち

んとし

日

が

せ

しる。

II

が

ル

のがが

る

0

で

か た セ

Y 本 ル

提 語

た

( ) 教

> 生に セ

対

寒さに

8

げ

ず、

スに

出

して

( )

・る方に

は

申

L

え

机

留

学 な

生

日 電

本 話

語 お

を 借 本 唱

教

える して」

前

15

先ず

日

らが

教な私授

にはこん

お

V) 語 L 話 精

な

L 必 学

て日 要と

本 な

語

日

育を

E

言

ところである

おお

を

て、

な愚

痴

借

l) 間 た 15

た お

時 借

間

分

け

有益なお話

私は N1 合格しても自分の日本語能力、特に会話力はまだまだです。これからも皆と一緒にオリーブでが んばります。よろしくお願いします。 (莫さん)

っ表自



京 都 外 玉 語 大 日 本 語 学 科 教 授 中

Ш

良

7 今 しま 日本 た

この 7 名 現 ば 物 は L 分 本 返す、 であ て は 前 来 0 7 () 手 ると 表現 あ 自 分で る。 借 電 0 ビジネス用 いう た I) る 話 1) て 最近 電 は を と言う お借りし 極 話 使 る を使 ル め 0 時 相 ネ は 度 7 間 ず 自 を だ 電 己 7 属 借 は

す

る

物

を

短

時

間

借

用

済

電

を

借

l)

る」と

う

ならず いる。」 は、 話 と言っ が Ź 何 なたに か 度 な か遭 , を借 電 話は貸して 来て、 して 電話を切 ように、 る 「お電 金を借 話 手 お 実

は私り



先生のへんてこ日本

# 日本語指導者養成講座に参加して

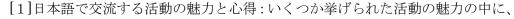
7月24日(日)、8月24日(日) 10:00~15:00に行われた、日本語講師養成講座(びわこ日本語ネットワーク主催)に参加してきました。

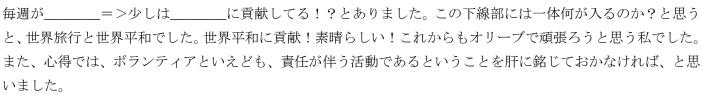
講師は、国際交流センター、日本語教師養成講座の講師であり、伊賀日本語の会のテクニカルアドバイザーも

されている、船見和秀先生です。午前中2時間、午後2時間の講義だったのですが、 船見先生の人を惹きつけるトークとジョークであっという間に時間が過ぎ、笑いな がらも集中力を切らさずに勉強することができました。

私は、日本語指導ボランティア初心者なので、ボランティアの心構えや、会話や 文法指導上の注意点など「なるほど~。」と思うことばかりでした。2日間の講義の 内容や、印象に残った事柄を少し紹介したいと思います。

第1日は、70名を超える参加者でした。まずは、アイスブレイキング: 席の近くの2、3人が集まって名刺交換ゲーム、自然と自己開示ができ、和やかな雰囲気になりました。





[2]伝わりやすい日本語とは:3つのポイント。①未習の文形・単語を使わない。②難解な語彙をやさしい言葉や表現に置き換えて。または言葉に頼らないコミュニケーションで。③ゆっくり、はっきり、繰り返す。なるほど!

[3]どのように会話力を高めるか一初級・中級前半レベルの学習者を中心として一:フリートーク(教師や支援者が何らかの学びの意図を盛り込んだ会話活動を行う)の重要性。トピックの選び方や、学習者の発話量が多くなるように気をつける。具体的な活動ネタとして、8発話で話す練習や、カレンダーや日本・世界地図で話す練習をしました。

第2日は、[1]クラス形式での教え方の基本:いつもクラス形式で教えておられる船見先生。素晴らしいスキル満杯でした。

- [2]「みんなの日本語初級 I」のエッセンス:①「~は…です。」の利便性。②「い形容詞/な形容詞」(8課・12課)形容詞が使えるようになれば、学習者が感想を語れるようになる。③「て形」語形変化が初登場(14課)飽きないように、定着を図る。④「丁寧形」と「普通形」(20課)「丁寧形・普通形」は「丁寧体・普通体」の表現の一部分。「丁寧体・普通体」のコード切り替えができるような活動を取り入れる。
  - [3]「~んです」ポイント:一気に全部教えようとしない。ポイントを絞って教えるのも一つの考え。
  - [4]「自動詞・他動詞」ポイント:典型的で覚えやすい例文を使う。数を絞って長い時間をかけてマスターさせる。



以上のような内容で、活動における具体的なヒントを たくさんいただきました。まだまだ未熟な私ですので、 実際の活動になかなか生かすことができないかもしれま せんが、少しずつトライして頑張っていきたいと思いま す。 レポート 杉山美子



#### 高校生の日本語アンケートに協力しました!

8月23日、膳所高校の2年生ふたりがオリーブの生徒に日本語についてのアンケートを取りに来ました。当日教室に来ていた23名の生徒が協力、国籍は、中国、フィリピン、タイ、インドネシア、ベトナム、オーストラリア、イギリス、アメリカ、ペルー、ブラジルと10か国。質問の中で**日本語の難しいところは?**の答えには、非漢字圏の人はやはり漢字!!日本語レベルによって違うとは思いますが、助詞と文法、会話や聞き取りが難しいという人もいれば、敬語や「は」と「が」の使い分け、お年寄りの日本語という答えもありました。

**好きな日本語は?**の答えも初級の人は「ありがとうございます」などよく耳にする挨拶ことばをあげているのに対し、中級以上のレベルの人は、「やり続けることには意味がある」「やられたらやり返す! 倍返しだ!」などというのもありました。「勉強、大切ですから」という答えもありましたよ! 先生たち、やる気が増しましたか?! また、**なぜ日本語を勉強しようと思ったのですか、**には、「日本にいるのに日本語を勉強しなかったらとてももったいないと思います」という指導者を感動させる答えもありました。高校生ふたりから感想文が届いていますので下記に紹介します。









こんにちは、膳所高校2年の松本です。今回「オリーブ」さんに伺わせていただいた時、僕は多くの外国の方々が日本の魅力を知っていることに感激しました。僕たちは日本以外の国を知らないので、自分たちの国の魅力をあまり知りませんでした。しかし、アンケートで「日本の魅力」を尋ねると、ほとんどの方が丁寧に答えてくださいました。その答えは、「便利」や「町が綺麗」など様々でしたが、僕たちには気が付かないことでした。改めて自分の故郷である「日本」という国を知ることができたと思います。本当に交流をすることは大事だと感じました。最後に今回アンケートに協力してくださった「オリーブ」代表の恩地さん、「オリーブ」の方々並びにその生徒さん方、ありがとうございました。

今回、学校の「探究」という授業の一環で私達の班の設定した「なぜ日本語は難しいと言われるのか」というテーマのアンケートを取るため、オリーブさんにお邪魔させて頂きました。実際に日本語を学ばれている生徒の方にアンケートを取らせていただいて、思っている以上に外国の方は日本語に、母国語との違いを感じられているのだと思いました。また文法的な違いの他に、文を読み取る際の感覚的な違いを持っているという方もおられて、とても興味深く感じられました。

今回取らせて頂いたアンケートは12月のグアムへの修学旅行の際の発表で活用させて頂きます。オリーブの皆さん、本当にありがとうございました。(県立膳所高等学校 2年 阪路彬世)



子どもくらぶ「たんぽポ」15周年シンポジウムに参加して(3)5月24日(土) 草津支援センターにて



### 「勉強は好きではなかったけれども・・・」

レポート 小春 京子

「最初に覚えた日本語は『バカ』でした。でも、『バカ』の意味がわからなかったので、いい言葉だと思い自分も友だちに『バカバカ』と返事をしていまいた。」と語り出されたのは、ブラジル人の青年S・Aさん。 悲愴な感じでもなく、笑いを交えたような明るい雰囲気の口調で、聞き手をラクにさせてくれる不思議な魅

カのある青年でした。「あまり勉強が好きではありませんでした。でも、何も考えずに歩んだ人生だったので、今はちょっと後悔しています。日本語は小さい頃に自然と覚えたけど、小学校時代に2年間ブラジルに帰ったらすっかり忘れてしまいました。中学2年生の時点では、進路の調査があっても適当に書いたけど、中学3年になって、やっと進路の重大さがわかった。そして慌てて『たんぽポ』で勉強をしました。」高校に合格したものの、1年生の時、家の経済状態により中退、ブラジルに帰国して仕事をすることに。「16~18歳くらいまで2年間ブラジルにいたけど、1人も友だちがいなくて引きこもっていました。」その後、日本に再び来て、保健センターの通訳をされていましたが、女性や乳児のことを通訳するのは恥ずかしいと転職。「通訳はニュアンスが変わるので絶対イヤだったんだけど…」再び日本語を活かした子どもに関わる仕事に。「勉強したらできる子がいっぱいいるが勉強しない。自分を見ているようだ(笑)以前は、日本語教室でも3人以上の外国籍児童に1人しか先生がつかなかったが、今は1対1で日本語の先生がついているからもったいないと思う。」と、S・Aさんは飾らない言葉で素直な気持ちを話してくださいました。また、この日参加できなかったブラジル人のAさんは、ビデオレターで登場。外国籍の子どもたちや日本の人たちにメッセージはありますか?というインタビュアの問いかけに「文化の違いを楽しんで欲しい。」と締めくくられました。学齢期に苦労した子どもたちは、立派な社会人になっていました…。(つづく)

### 先月の活動(8月)



#### 今月の活動予定(9月)



日本語教室 8/2 (M).23.30 (3 回)

※8/9 は警報が発令されたため中止、同日パワフ ル交流市民事前打ち合わせ会も中止

まちセン運営協議会施設部会 8/19(火)(田中一)

BNN会議 指導者養成講座終了後 8/24(日)(佐野)

BNN 指導者養成講座 8/24(日)(佐野)

市民公益活動団体連協 8/5(火)8/12(火)(恩地)

日本語教室 9/6 (M).13.20.2

まちセン運営協議会施設部会 9/19(金) (田中一)

BNN 会議 指導者養成講座終了後 9/14(佐野)

BNN 指導者養成講座 9/14(日) (佐野)





●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●( )内は参加者、または 参加予定者。敬称略



### 参加人数(8月)

	8/2	8/9	8/23	8/30
先生	16 人	なし	17 人	14 人
生徒	19 人	なし	19 人	29 人



#### 会員の動き(8月)

〈入会〉なし 〈退会・休会〉なし 〈賛助会員〉なし





#### お知らせ

### パワフル交流市民の日

日時:10月18日(土)10:00~15:00

場所:草津市役所

内容:市民活動団体によるステージ発表、パネ

儿展、模擬店など。

オリーブモブース出展で活動紹介&ボランテ

ィア募集を行います!みんな参加してね!

## クサツハロウィン

日時:10月26日(日)10:30~17:00

場所:草津駅前商業エリアー帯

内容:アニソンライブ、キッズダンス、サンバ、津軽三 味線ライブ、外国絵本の読み聞かせ、コスプレ、仮装 パレードなど盛りだくさんです。詳しくはチラシで!

主催:クサツハロウィン実行委員会(kifa内)







# デニさんのインタビューが広報誌に!

インドネシアのデニさん、いつも笑顔の好青年♪ 1ページに N3 台格のコメントを寄せ てくれました。 残念ながら「10日のあたまに帰国します」(本人談) そのデニさんのインタビュー記事がまちセンの事業母体草津市コミュニティ事業団の発 行する"コミュニティくさつ"9 月号に掲載されています。故郷インドネシアの回覧板事情 やいかに!ぜひご一読を!

#### <編集後記>

8月は大きな台風が来てクラスを1回お休みせざるを得ませんでした。警報が出たら授業はなし、と決めています が、それを知らずに誰か来るかもと田中夫妻と小春さんがまちセン張り番についてくれました。そして、生徒さん2 名、入会希望者5名が激しい雨をものともせずやって来たそうです。「警報が出たら休み」を初級の生徒にどうやっ て伝えるか先生の腕のみせどころ?・・・とりあえず先生方、生徒さんとアドレス(電話番号)交換をして、急な連絡が できるようにしておいてください。

さわやかな季節になりました。生徒を誘ってお出かけしたいですね。ハイキングなんかいいな。 今月も発行が遅れてしまい申し訳ないことです。不徳の致すところでございます。(MO)